

都市計画実習 スマートキャンパス班 最終発表

学食ビフォーアフター

～学食をよりよくするには～

指導教員：鈴木勉
TA：山本克己

代表：西沢昂
副代表：北田春華
資料：立場かおる
印刷：星野奈月

発表の流れ

学食が良くなる
といいねえ…



背景・目的

調査

ヒアリング調査

文献調査

アンケート調査

現地調査

ビデオ調査

提案・実験

座席数の増加

カウンター
席

テラス席

ハイ
テーブル

分析・考察

結論

筑波大学の現状

建物の老朽化、また時代の変化や学生の行動に対応できていない部分が見られる。



キャンパス改善の余地がうかがえる。

学食の課題



デザイン性の欠如

清潔感の欠如



ピーク時の混雑

学食に関する問題を扱う

目的

学食における

A.問題・
ニーズの把握

B.現状調査

C.魅力的な
学食に向けて
の提案

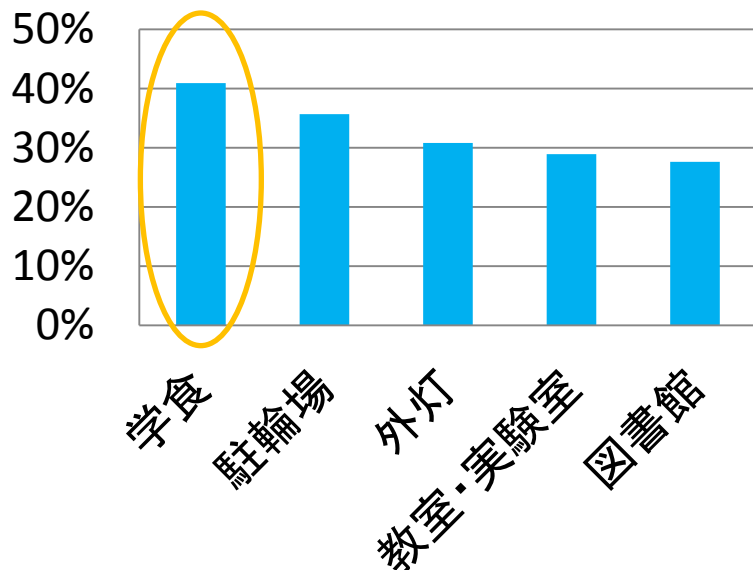
A.問題・ニーズの把握

文献調査

A.問題・ニーズの把握

- ・ 学生生活実態調査（学群）平成20年度
- ・ 学生生活実態調査（学群）平成22年度

整備・充実してほしい施設



昼

この結果について

厚生会はその後詳しい調査を行っておらず、**値段が1番の原因**と
考えている。

4割以上の学生が学食に不満を持っている
半数以上の学生が学食で昼食をとる

ヒアリング調査

A.問題・ニーズの把握

学内の昼食時間帯以外の食堂利用者へのヒアリング調査
＜4月27日(金) 14:00-16:00＞

Q. 利用目的は？

A. 授業の合間の暇つぶし、勉強、雑談

Q. 何故その場所(学食)を選んだのか？

A. その時間の前後の授業の場所に近い
勉強目的では少しうるさい方が集中できる

現地調査

A.問題・ニーズの把握

<5月2日(水) 12時～16時>

東京大学

- 筑波大学同様、昼食時の混雑が問題
- カウンターが多い
 - 勉強などもしやすい環境



東洋大学

- 休憩の場所としても多くの人が利用



実態調査アンケート

A.問題・ニーズの把握

アンケート概要

サンプル数 185

目的

利用状況
問題点特定
ニーズの把握

調査内容

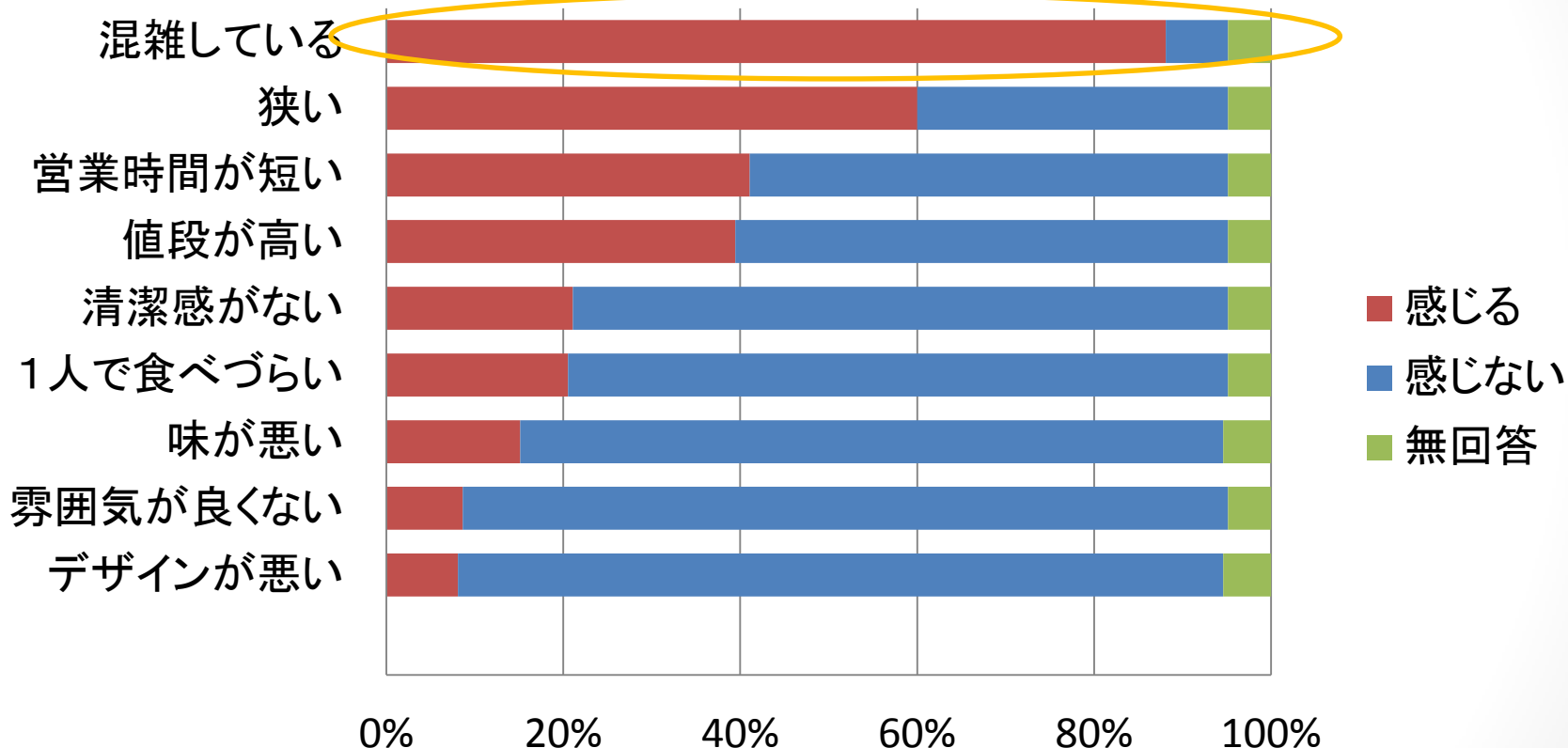
基本項目
利用時間
満足度
利用頻度
不満点
利用実態

調査対象

全学群生

実態調査アンケート A.問題・ニーズの把握

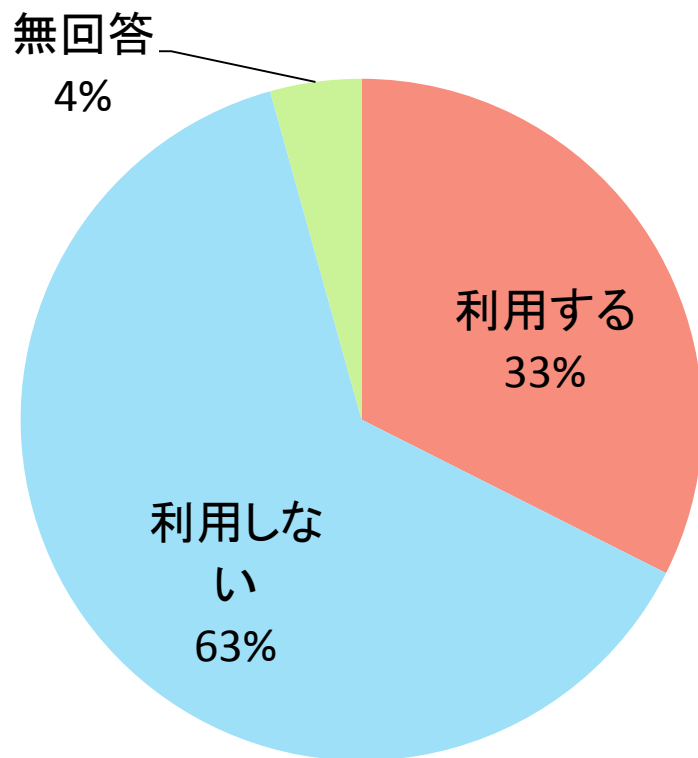
学食に対する不満



混雑していると感じている人が80%を超えている。

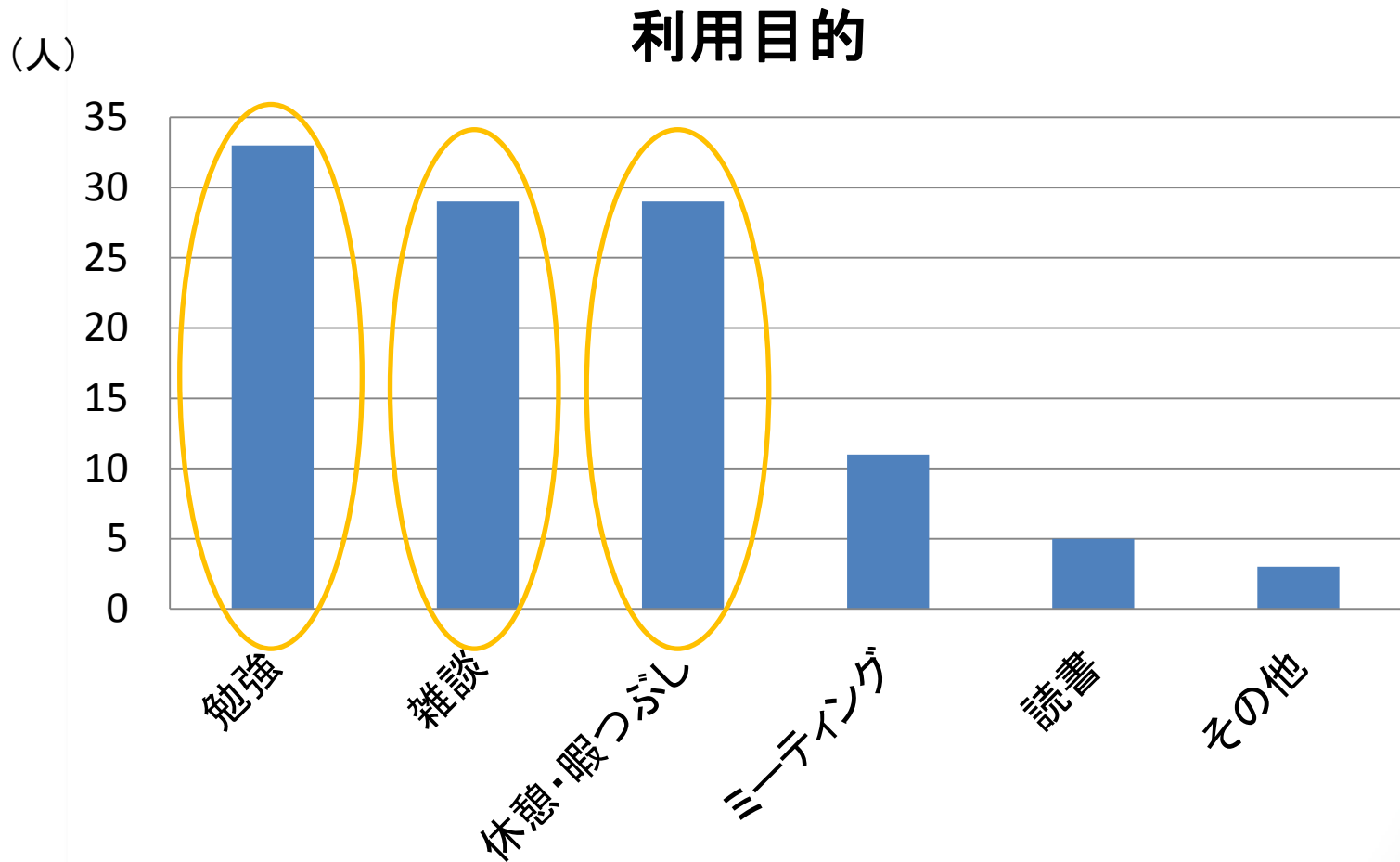
実態調査アンケート A.問題・ニーズの把握

食堂の食事以外の目的での利用



食堂を食事以外の
目的で
利用する人は
4割未満

実態調査アンケート A.問題・ニーズの把握



食事以外の利用目的としては
勉強、雑談、休憩・暇つぶしが上位

B.現状調査

ビデオ調査

B.現状調査

ビデオ調査概要

目的

利用状況把握
(滞在時間、
利用の仕方、
グループ数等)

調査日時

5月30日(水)～
6月1日(金)

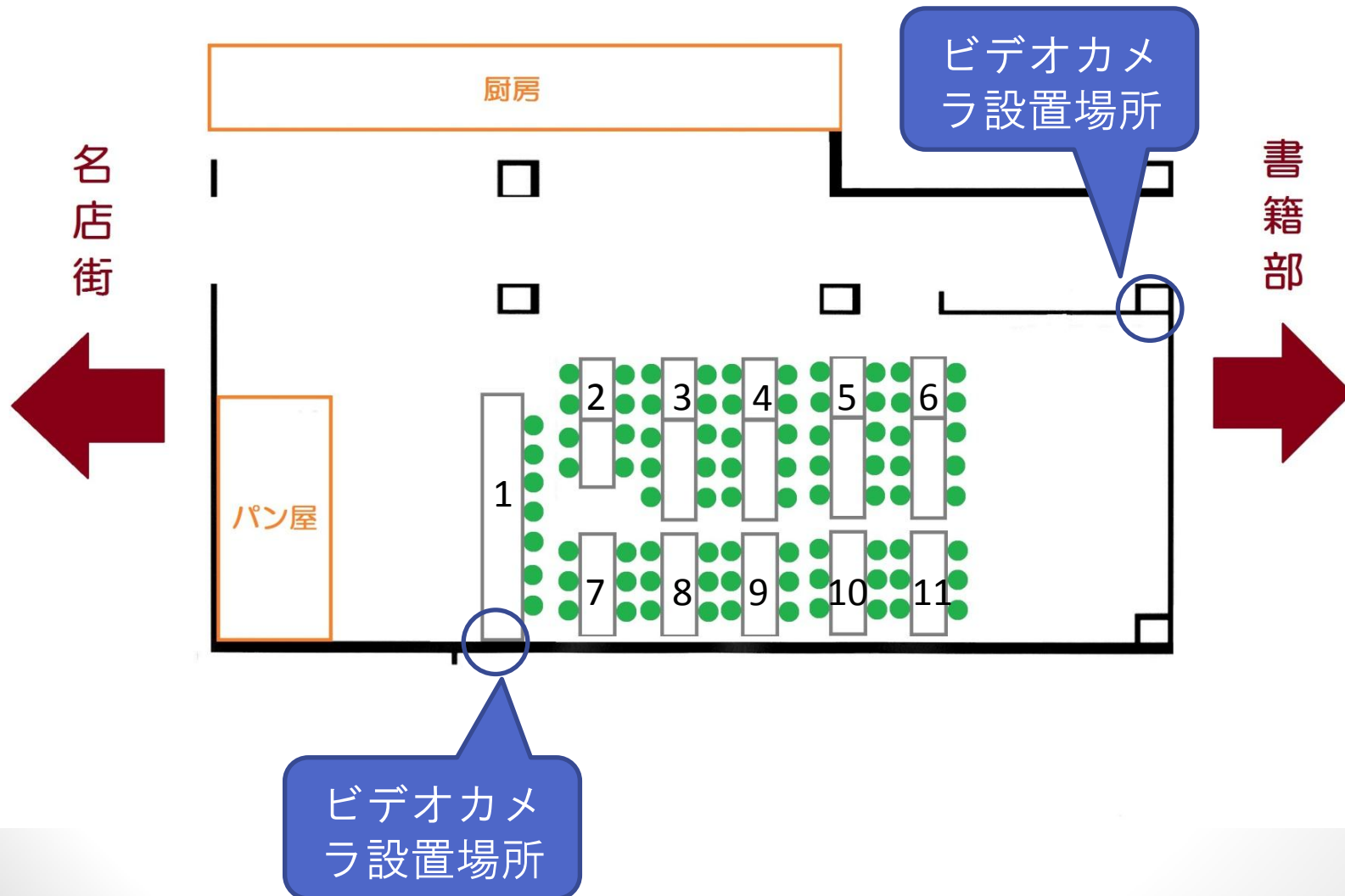
10:45～13:00の
お昼ピーク時前後

調査対象

3学食堂内の
85席

ビデオ調査

B.現状調査



ビデオ調査

実施期間5月30日～6月1日

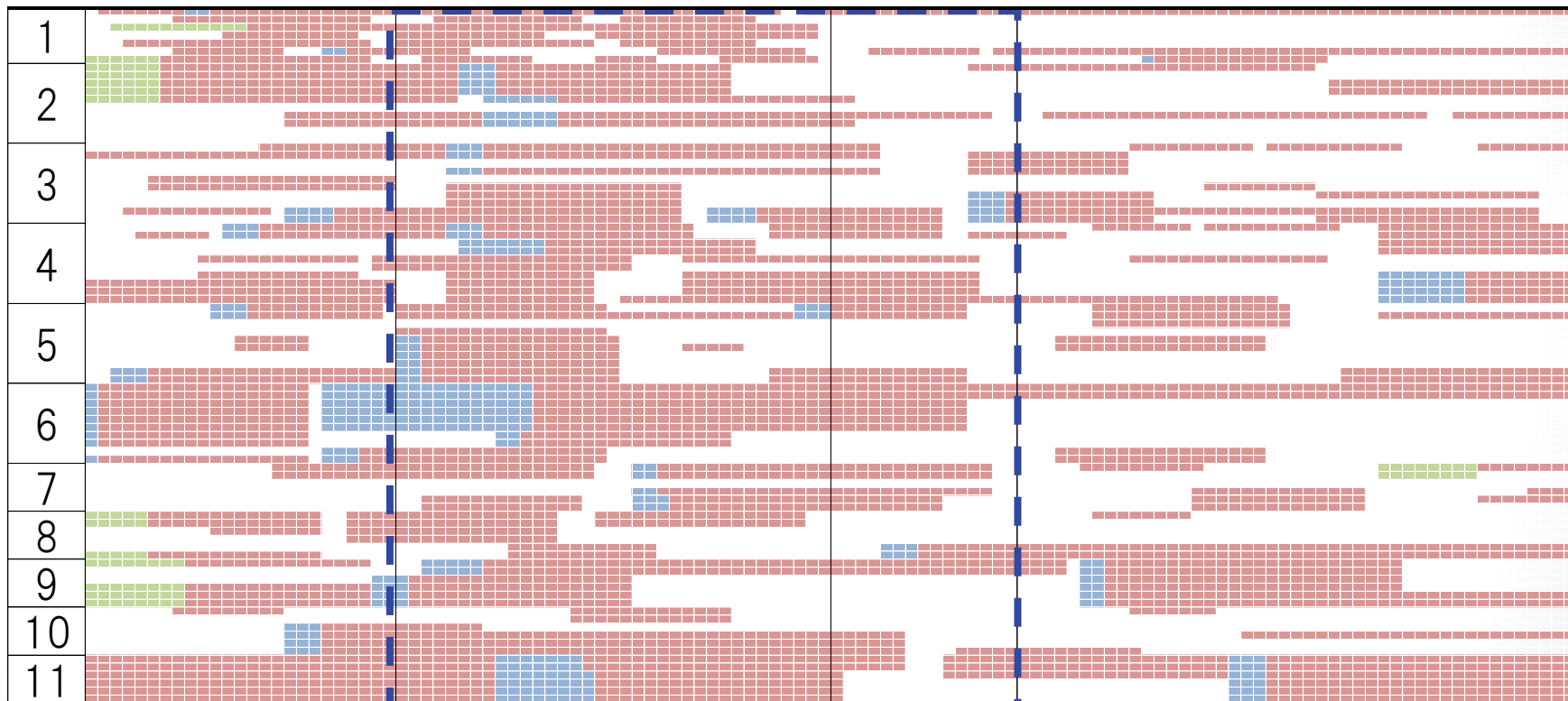
席の利用状況

B.現状調査

11:00

12:00

13:00



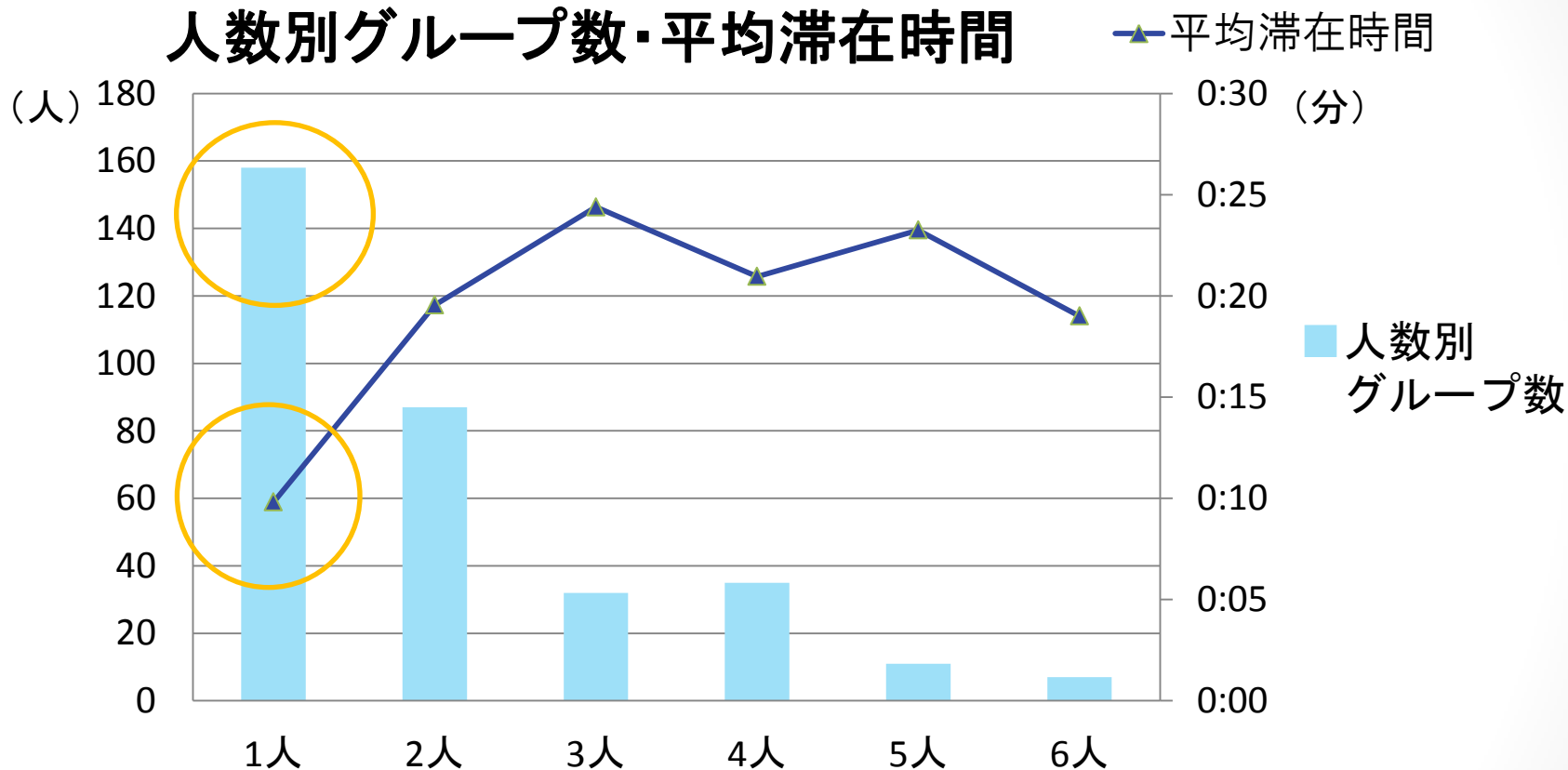
- 食事
- 席とり
- その他

(上図 5月30日 11:00～13:00)

ビデオ調査

B.現状調査

人数別グループ数・平均滞在時間

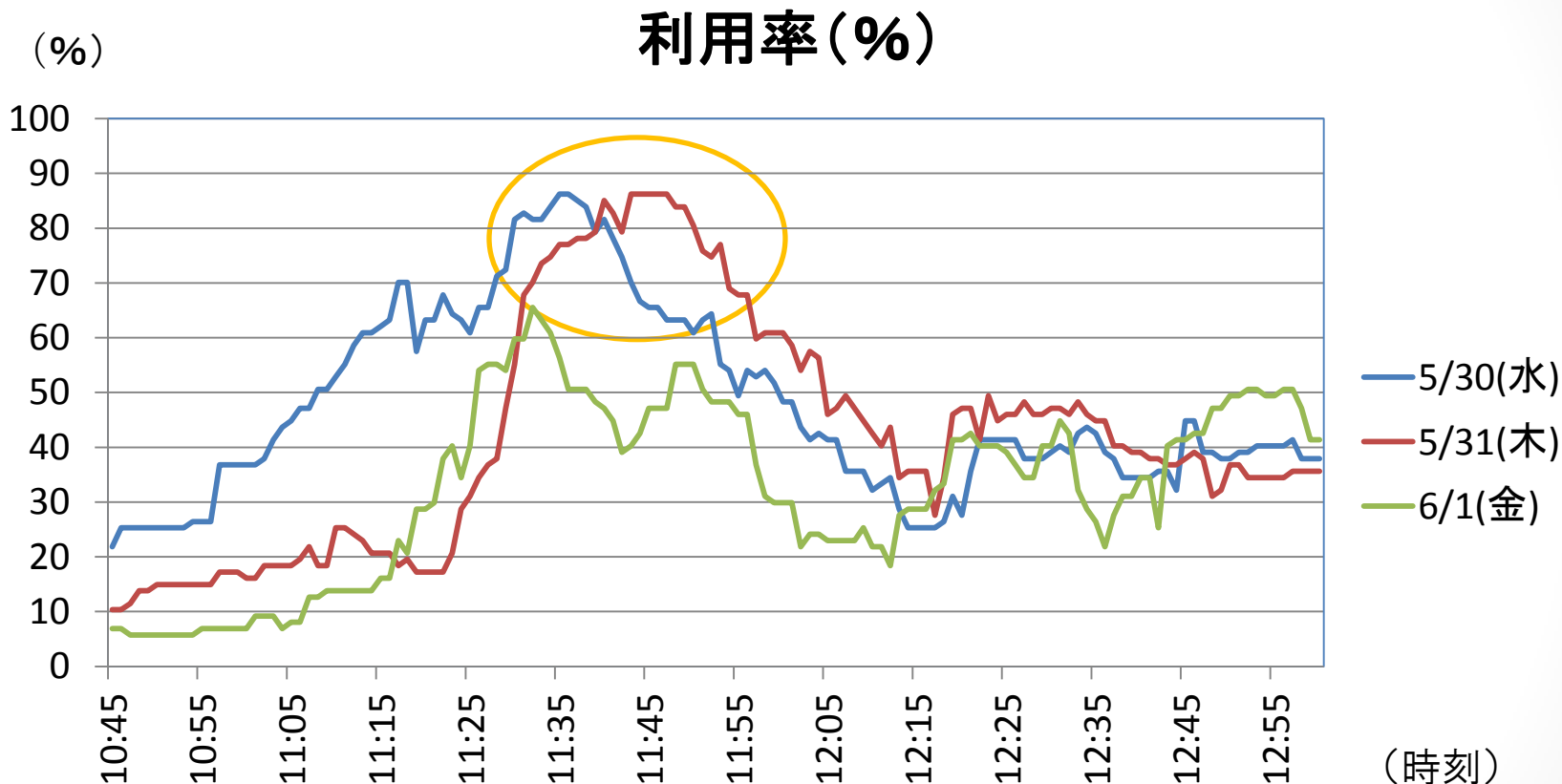


1人で3学食堂を利用している人が最も多い

1人の滞在時間は短い

ビデオ調査

B.現状調査

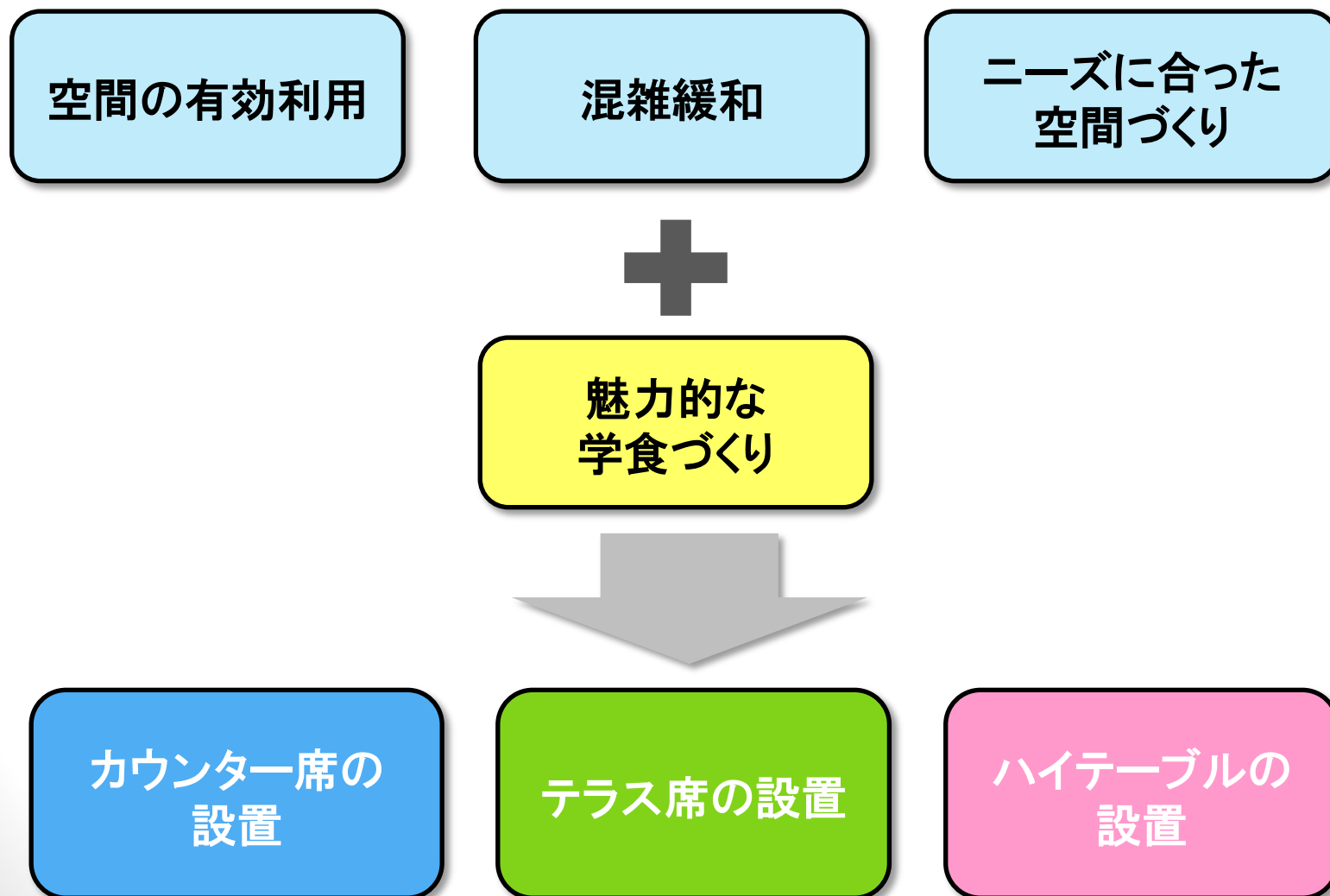


お昼のピーク時は利用率は90%近くになる

C.魅力的な学食に 向けての提案

提案

C.魅力的な学食に向けての提案

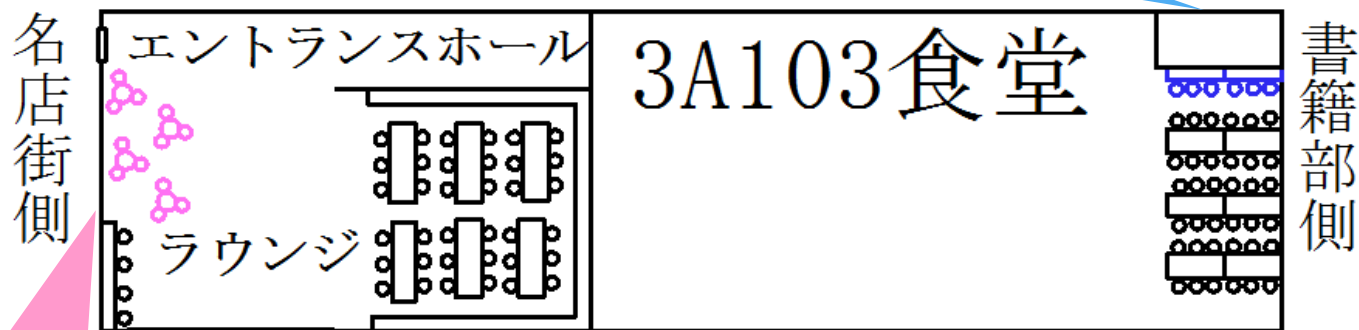


提案

C.魅力的な学食に向けての提案

新たに設置した席

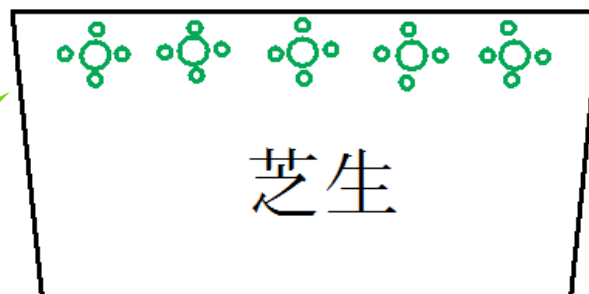
カウンター席



通路

ハイテーブル

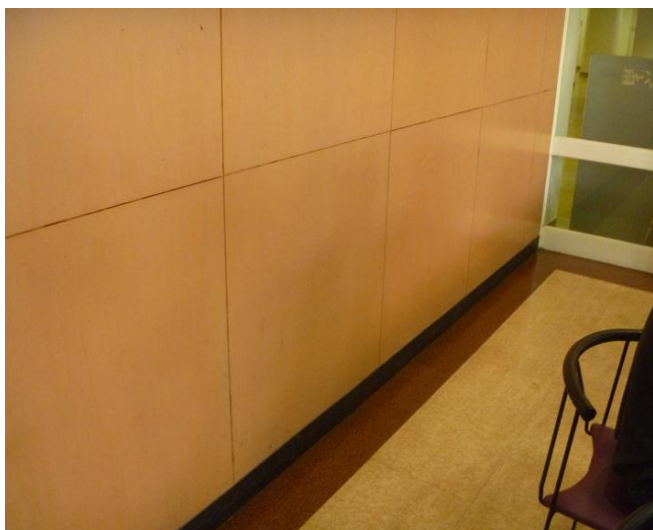
テラス席



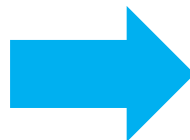
提案

C.魅力的な学食に向けての提案

3学食堂・カウンター席



before



after

3学食堂奥のスペースの有効活用
座席数増加による混雑緩和
1人利用者のニーズへの対応

提案

C.魅力的な学食に向けての提案

3学食堂・テラス席



before



after

屋外の芝生の有効活用
座席数増加による混雑緩和
開放的な空間づくり

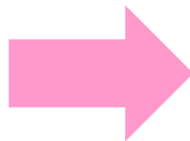
提案

C.魅力的な学食に向けての提案

3学食堂・名店街の間のハイテーブル



before

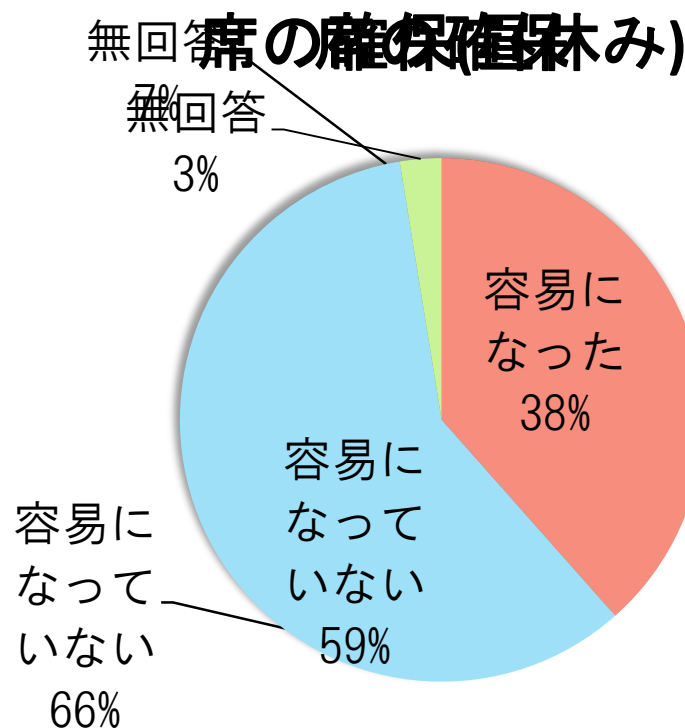
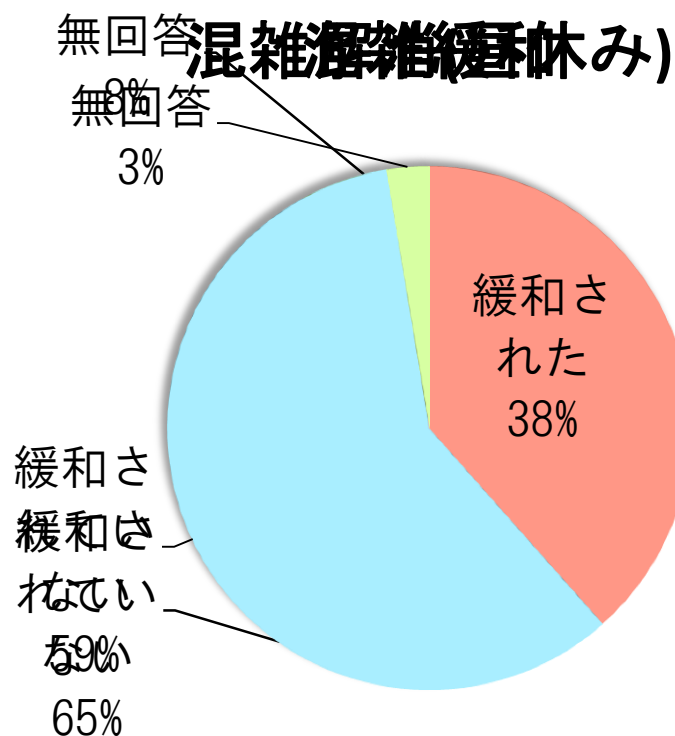


after

デッドスペースを活用
座席数増加による混雑緩和
おしゃれな空間づくり

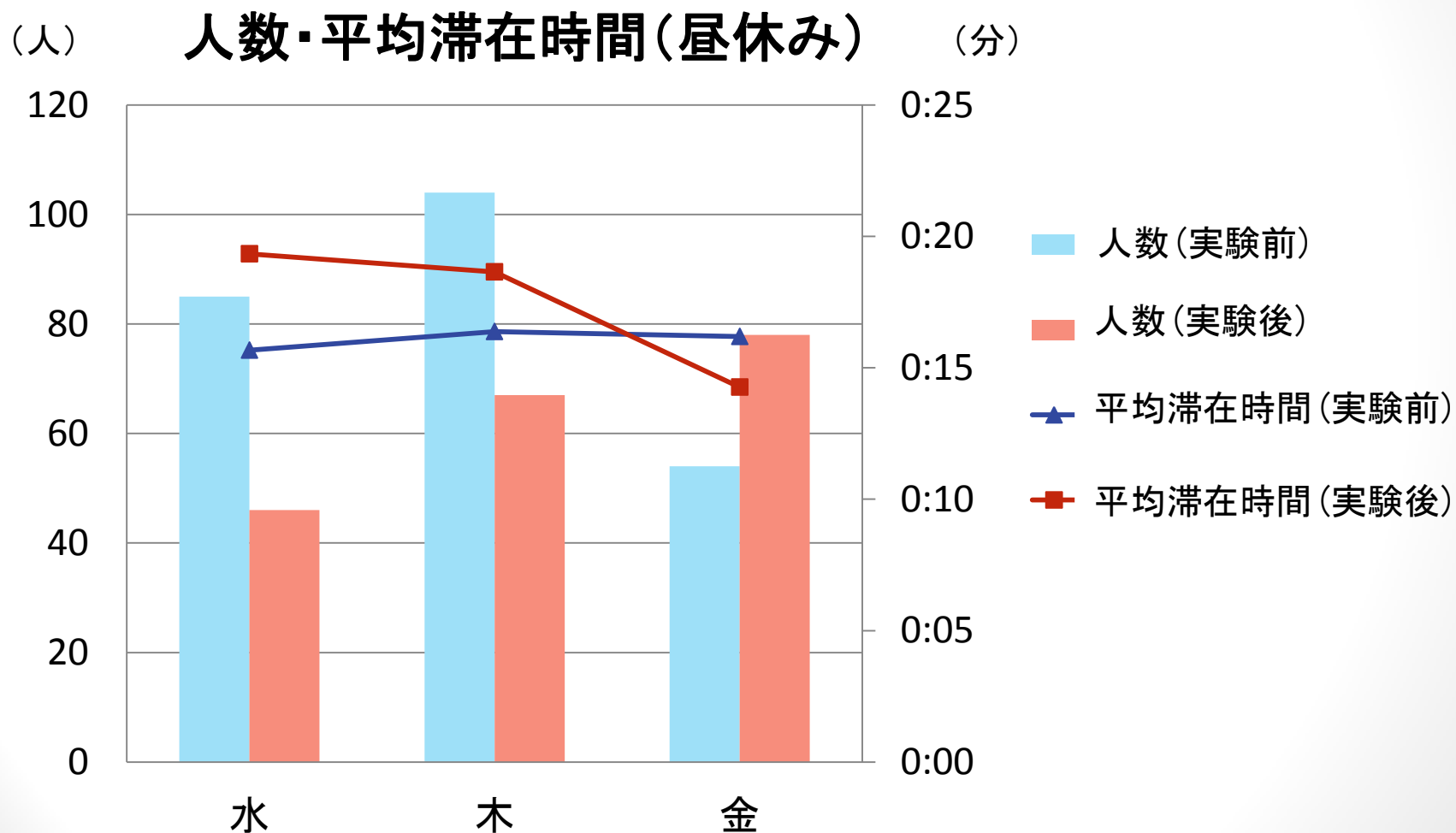
3学食堂への影響

全体（昼休み8：15～12：15）に利用する人 n=46



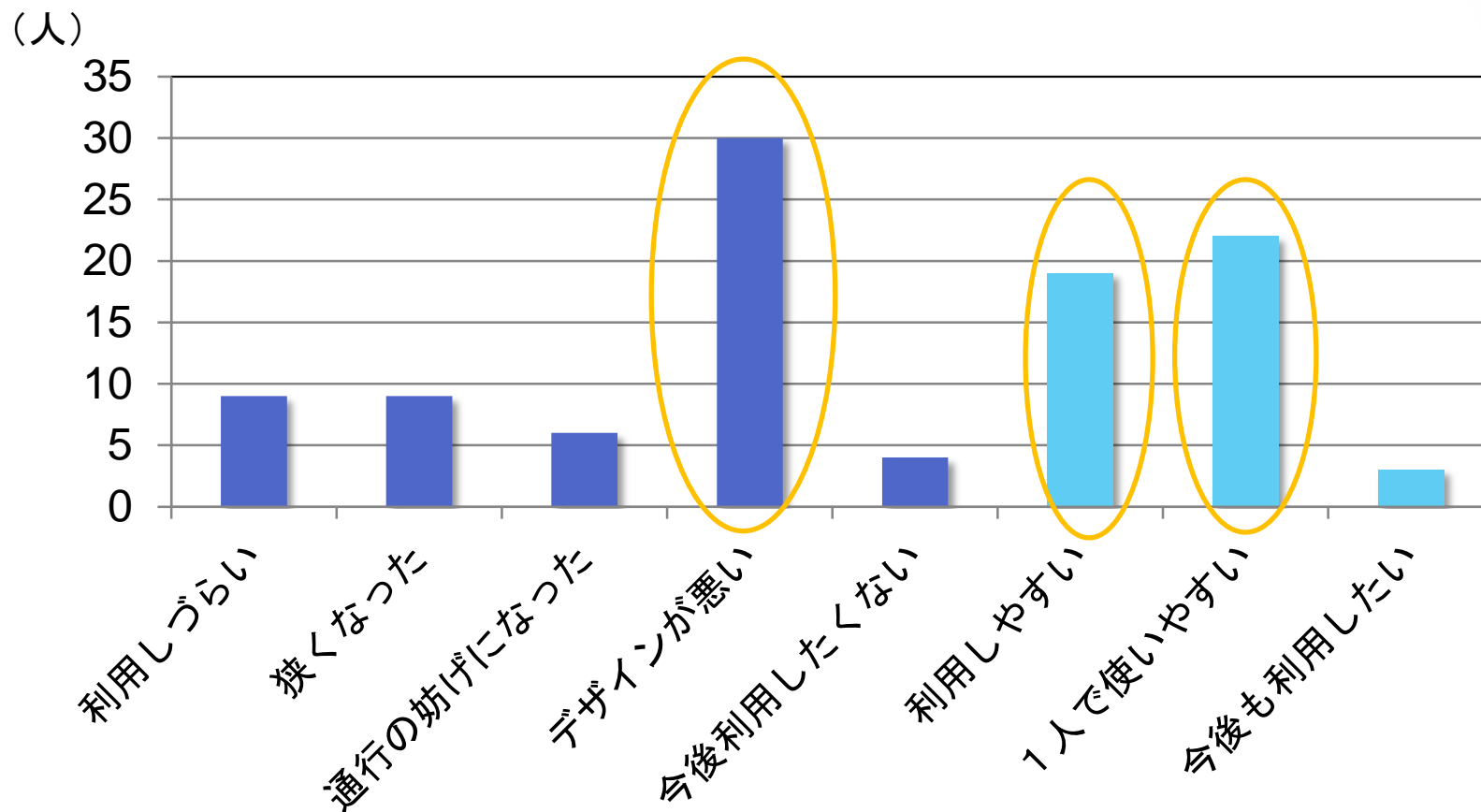
混雑緩和や席の確保に影響を与えた傾向が見られる

3学食堂への影響



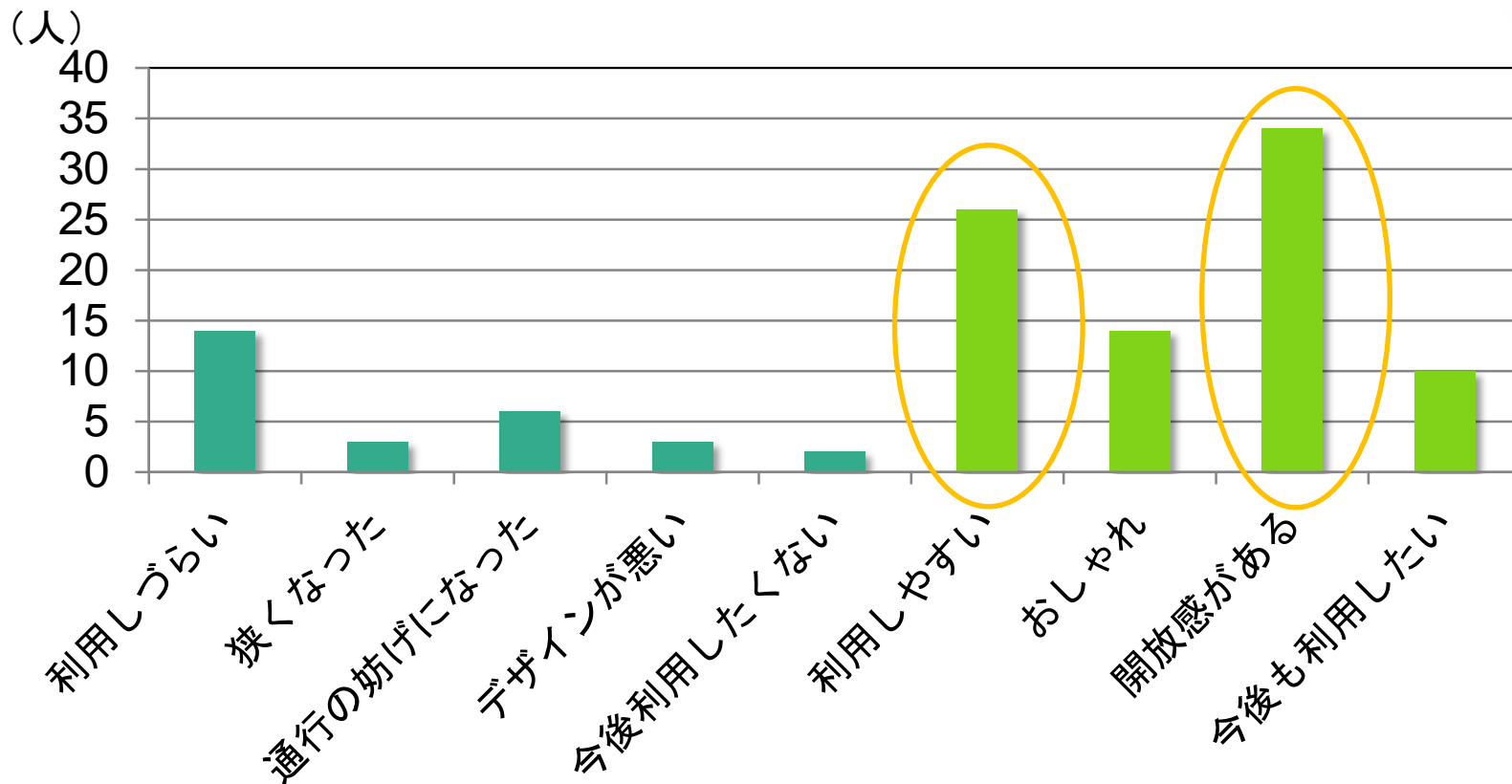
カウンター

効果や問題点



- ・ 昼食ピーク時しか使用されなかった
- ・ デザインが悪い、奥にあって使いづらいという意見があった
- ・ 利用しやすい、 1人で使いやすいという意見も多くあった

テラス 効果や問題点

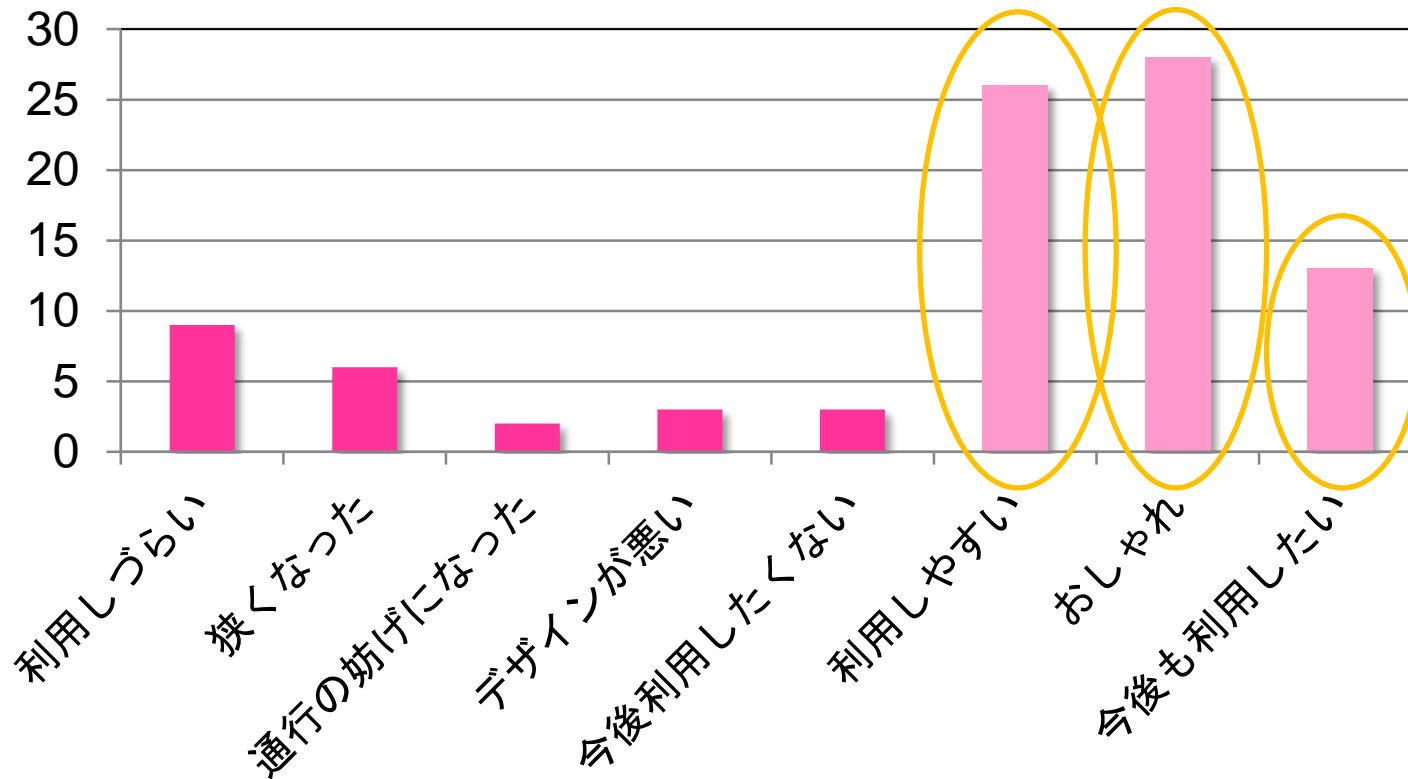


- ・ ピーク時以外にも活用されていた
- ・ 雑談など食事以外の目的でも利用されていた
- ・ 利用しやすい、開放感があるという意見が多くあった
- ・ 日差しや管理の問題などがあった

ハイテーブル

効果や問題点

(人)



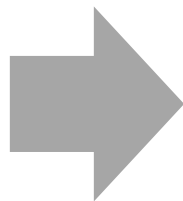
- ・ 昼食以外にも利用されていた
- ・ 利用しやすい、おしゃれ、今後も利用したいという意見があった
- ・ 配置によっては乱雑に見えるという問題も見つかった

結論

A.問題・ニーズの把握

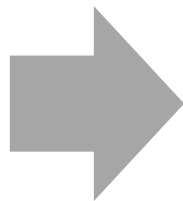
●問題点

様々な不満の要因



混雑は大きな問題

空間利用の問題点



オフピーク時の利用
デッドスペースの存在

結論

A.問題・ニーズの把握

●ニーズ

食事以外の利用
目的などの調査



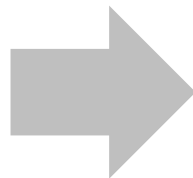
学食は学生が集まれる
空間としてのニーズ



結論

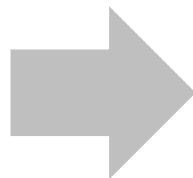
B.現状調査

ビデオ撮影の結果



お昼休みの時間帯は
学食は混雑

グループの人数
などによる
ニーズの違い



ニーズにどの程度
応えるか考える必要性

結論

C.魅力的な学食に向けての提案

改善案の利点・問題点

	利点	問題点
カウンター	1人で使いやすい	デザインが悪い 奥まった所にある
テラス	おしゃれ 開放感がある	日射がある 管理が困難
ハイ テーブル	おしゃれ	人目につきやすい 椅子の配置が乱雑

これらをふまえて改善案に提案を付け加える

結論

C.魅力的な学食に向けての提案

●カウンター、テラス、ハイテーブルの提案

カウンター



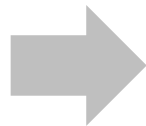
デザインを改善
入り口付近に配置

テラス



パラソルをつけるなど日陰をつくる
管理法を徹底する

ハイテーブル



イスの種類を工夫
テーブル間や人の動線を考慮

結論

C.魅力的な学食に向けての提案

BGMにより回転率をあげる

他のデッドスペースに学食の客を誘導させて混雑緩和を促す

体芸食堂への応用(デッドスペースの活用等)

厚生会に成果を提出するなどし、学校全体の活動につなげる

謝辞

こちらの方々から多大な協力を頂き、心より感謝申し上げます。

菊池 信孝 様（筑波大学学生生活課 副課長）

高谷 勝行 様（筑波大学学生生活課 専門職員）

高橋 義宏 様（筑波大学学生生活課シニアスタッフ）

塚本 聖 様（筑波大学学生生活課 専門職員）

筒井 祐子 様（筑波大学システム情報工学等支援室 学
群教務）

3学食堂の店員の皆様

参考文献

- ・筑波大学キャンパスリニューアル計画

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~shisetsu/05cr.html>

- ・東大生協HP

<http://www.utcoop.or.jp>

- ・大学学食ランキング

<http://www.nikkei.com/news/ranking/article/g=96958A96889DE1E7E7EAE3E3E3E2E3E6E3E2E0E2E3E385E2E3E2E2E2>

<http://gakushoku.info/?p=1077>

<http://univlog.jugem.jp/?eid=2221>

- ・筑波大学キャンパス・施設紹介

<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/campus.html>

- ・BGMの効果及び問題点の研究—知的作業時を中心に—

谷口葉月

<http://www.art.hyogo-u.ac.jp/hrsuzuki/students/hatuki.pdf>

- ・社会的ジレンマ班 第三エリア 学生食堂 混雑改善計画
～混雑とは、避けられるもの～

http://toshisv.sk.tsukuba.ac.jp/jisshu/jisshu1/report/2010/g4_dilemma/

- ・平成22年度 学生生活実態調査（学群）
- ・平成20年度 学生生活実態調査（学群）

ご清聴ありがとうございました。